

平成 27年 06月 05日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

職人らんど優良住宅

グループの名称

職人らんど

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

伊藤 貴好

代表者印

代表者所属先

有限会社フジイ銘木店

代表者構成員番号

Ⅲ-1

代表者所在地

静岡県浜松市中区葵西3-8-21

代表者電話番号

053-437-3507

(グループ事務局)

事務局事業者名

有限会社フジイ銘木店

事務局構成員番号

Ⅲ-1

事務局担当者名

田崎 益洋

印

事務局郵便番号

433-8111

事務局所在地

静岡県浜松市中区葵西3-8-21

事務局電話番号

053-437-3507

事務局FAX

053-437-3288

事務局担当者E-mail

fujimeiboku@nifty.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	職人らんど優良住宅
2. グループの名称(必須)	職人らんど
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県西部地域
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	伊藤 貴好
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社フジ銘木店
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-1
9. グループ代表者所在地(必須)	静岡県浜松市中区葵西3-8-21
10. グループ代表者電話番号(必須)	053-437-3507
11. グループ事務局事業者名(必須)	有限会社フジ銘木店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	田崎 益洋
14. グループ事務局郵便番号(必須)	433-8111
15. グループ事務局所在地(必須)	静岡県浜松市中区葵西3-8-21
16. グループ事務局電話番号(必須)	053-437-3507
17. グループ事務局FAX番号(必須)	053-437-3288
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	fujimeiboku@nifty.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	1	
V. 設計	7	
VI. 施工	23	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	静岡県産材	静岡県	静岡県産材証明制度	3	国内
	合法木材	全国	合法木材証明制度	3	国内
	合法木材	国外	合法木材証明制度	3	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)		地域材加算合計		地域材加算合計	地域材加算合計
	経験工務店 + 未経験工務店の合計	6 戸	地域材加算合計	6 戸		
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	1 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	5 戸	地域材加算(うち申請が確実)	2 戸
	うち申請が確実	0 戸	うち申請が確実	2 戸		
	うち申請が未確定	1 戸	うち申請が未確定	3 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	4 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	8 戸	地域材加算合計	8 戸	地域材加算(うち申請が確実)	3 戸
	うち申請が確実	3 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	5 戸		
	うち申請が未確定	5 戸	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	1 戸	地域材加算合計	1 戸
うち申請が確実	0 戸	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸	
うち申請が未確定	1 戸	うち申請が未確定	1 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸	

C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物		床面積	
うち申請が確実	棟	m ²		
うち申請が未確定	棟	m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	完了実績見込み						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	竣工済	戸	竣工予定

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		木造建築物	
	採択棟数	棟	採択床面積	m ²

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人らんど優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 職人らんど	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震性能を高める。長寿命型の耐震等級3はもちろん高度省エネ型も耐震性能を高めるように努める。長期優良型の住宅も太陽光発電を設置するように努める。地盤調査の実施。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	耐震性能が高い家を作るのももちろん、地震発生時の火災による延焼しない家造りを行う。豊富な森林資源を活用する為に羽柄材に静岡県産材をしようする。温熱環境の数値で表われない部分での断熱対策を講ずる。(外部に遮熱シートを使う等)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	静岡県産材を使い化粧の柱や梁、居室の羽目板や床材等木材の見える空間作る。	○
④①～③の背景	静岡県は東海地震の震源域になっており、マグニチュード8級の揺れが想定されている。気象庁の日照時間の2014年の平均値が浜松市は全国3位である。その日照時間を有効利用する為に太陽光発電を活用する。自然環境に恵まれ全国有数の森林資源を有している為その活用に積極的に取り組む。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	グループの中に初めて取り組む工務店が多数の為、標準仕様を設定し、各工務店に提示する事により初めて取り組む工務店で取り組みやすい環境を作る。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	標準仕様の選定品を職人らんど仕様とし、流通業者が仕入れ交渉、調達をする事により合理化を図る。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	今後、委員会を立ち上げて、生産の合理化に対し更に検討する。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	事務局は標準仕様、合理化案を各工務店に伝え、意見の調整等の窓口としての機能を担う事とする。未経験工務店が多数の為、外皮計算や一次エネルギー計算等をサポートする。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	外装材・サッシ等の防水関連、断熱材の適切な施工方法等の勉強会を実施しグループとしての施工基準を整備する。	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定	グループとして整備した施工基準を基に検査項目を設定し、グループ構成員同士で検査を行う。検査結果は勉強会の場で検討する。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	住まい手に見積りを分かりやすく提示する為に、事務局が設定した見積書を提示する事とする。見積書の内容はできるだけ細分化する事とする。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	グループでの取り組み、結果をWEBサイト職人らんどで公開し発信していく。各社の住宅イベントや見学会などでもグループの取り組みを発信していく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人らんど優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 職人らんど	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅))の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	グループで推奨する住宅履歴情報サービス機関を利用する事とする。点検時期の通知メール機能を活用する事により、点検時期を忘れず 確実にを行うようにする。	○
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	維持保全計画を作成し、計画に沿ったメンテナンスを行い、住宅履歴情報システムに記録する。リフォームを行った際も同様に記録し住宅 履歴を保存する。	○
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	グループ内の展示会や、イベントを利用しDIY教室や、簡単に行える住宅の維持管理方法教室を実施する。WEBサイト職人らんどでも維持 管理方法を公開して行く。	◎
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	維持管理検討委員会を立ち上げ、実現可能な維持管理方法や住宅履歴情報システムの運用について検討を行う。	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	グループ構成員の倒産廃業時は構成員の中から事務局が選定した事業者を紹介し、事務局が履歴情報を共有する事により引き継ぎ等の バックアップを行う。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	専門の講師を招きルールを整備し、委員会や勉強会でルールの共有を目指す。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	各工務店が、新築住宅の引き渡しまでにお手入れ方法等を取りまとめて住まい手に提供する。	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	定期的に各回のテーマを定め勉強会を開催する。	◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	未経験工務店が多数いるため、国の政策への知識の向上や、外皮計算・一次エネルギー消費量計算の方法や、天然乾燥材と人工乾燥材 の違いなど木材(地域材)への関心を深める為に製材所や原木業者の見学等、テーマを決めて行う。開催頻度は2ヶ月に1回を目指す。	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	未経験工務店が多数の為、まずは各工務店が1棟でも受注できるようにする。長期的に、グループで上記で示した研修会を継続し受注量 増加を目指す。また、各工務店は事務局に見込み客・受注確実物件の数を報告し共有できるようにする。	○
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	工務店は見込み客・受注確実物件の把握に努め、事務局に報告する。流通業者は事務局からの情報を基に製材業者や原木業者に在庫 の備蓄等の依頼をかける。製材・原木業者は情報を基に生産予定を立てる。	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	設計・施工合わせて30社で構成されているが、ほとんどのメンバーが参加していないので、今年度は半数の15社、20名の参加を目標とする。	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局が講習会の日程を把握し、定期的に開催される勉強会にて公開する。事務局からの構成員へのメール等で積極的に参加を促す。	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	新たな技術を導入した工務店の施工現場にて意見交換を行う。必要ならば専門家を招き検証を行ったり、第三者機関に検証を依頼する。	○
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	断熱材や気密方法で新たな技術、工法を導入した場合、赤外線カメラを用いて建物内の温熱環境の実証実験を行う。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人らんど優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 職人らんど	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	静岡県産材は土台・柱・梁・桁・2次部材に使用する。合法木材(全国)は柱・梁・桁に使用する。合法木材(国外)は梁・桁に使用する。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	主要構造材の材積値の最低40%以上を静岡県産材。合法木材はコストや強度・納期等の理由がある場合のみ使用する事とする。静岡県産材と合算して主要構造材の材積値の50%以上にする。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台と柱の90%以上を静岡県産材をしようする。梁・桁にも静岡県産材を取り入れる。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	定期的に(月単位が望ましい)事務局と流通業者が価格と在庫量を製材業者等から取りまとめ、構成員に開示する事で共有を図る。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	定期的に開催する勉強会により需給予測を共有する。	◎
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用	三州瓦を活用する。	○
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	地域の綿(遠州綿)を生かした装飾を取り入れる。地域で製造された鉄製の装飾を取り入れる。	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組		
	②地域の住まい方の継承につながる取組	遠州地方に伝わる続き間を取り入れる。現代ならばLDKと和室の続き間を設ける。	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	外部(庭等)に樹木を植えたり、外壁に木材を取り入れた。森林資源の産地として木の見える街並みを作る。	○
	④和の住まいの要素を取入れた取組	化粧の梁や、化粧の柱等木の見える空間を作る。和室を含めた畳の間を作る。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	WEBサイト職人らんどは地域密着を理念に運営しております。建築関係以外にも賛同者を募り、地域の産業や伝統と積極的に交流し、地域産業に寄与する事を目標にします。	◎
その他			
【平成27年度対応方針】			◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	各構成員が主催又は参加するイベントで義援金を募る。WEBサイト職人らんどでも呼びかけ、日本赤十字社等を通じて寄付する。被災地域は合板の製造メーカーがあるため、流通業者はできるだけ被災地で製造されたものを仕入れる。	◎
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			
ウレタン吹付け断熱材を使用する事により気密性を高めて、数値では見えないところでの外皮の性能を高めている。 外壁の防水シートを遮熱シートを使い、こちらも数値では見えない所での断熱性能を高めている。このように数値に見えない所までこだわった住宅である。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。